

令和5年度 学校評価(保護者アンケート) 沖縄県立美咲特別支援学校

幼小学部106名 中学部50名 高等部81名 計237名

幼小中高 保護者 n=237/394 60.1%

回答者数(人)

回答割合(%)

領域	No	評価項目	◎	○	▲	×	無回答	◎:とても思う ○:やや思う ▲:そう思わない ×:全く思わない
学校運営	1	学校は、教育方針や教育活動及び必要な情報をわかりやすく伝えている。	109	119	7	2	0	
	2	学校は、子どもの人権を尊重し大切にしている。	170	60	3	3	1	
教育活動・進路指導・学習指導	3	お父さんは、喜んで学校に通学している。	147	74	12	1	3	
	4	先生は、子どもたちをよく理解し、指導を行っている。	163	62	7	3	2	
	5	先生は、ICT (iPadやパソコン・電子黒板等)の活用等を通じた情報教育を行っている。	92	109	19	4	13	
	6	学校は、子どもたちの個々の将来を見据えた、望ましい進路選択のための情報を提供し、保護者と連携しながら進路指導を行っている。	129	83	11	6	8	
	7	学校は、お父さんに関する相談について適切に対応している。	147	78	9	2	1	
生徒教育指導	8	学校は、いじめや体罰の根絶に努め、未然防止・早期発見・早期解決等に努めている。	104	102	8	7	16	
	9	先生は、本人・保護者の教育的ニーズや願いを取り入れた「個別的教育支援計画」を作成している。	161	67	5	1	3	

保護者連携	10	PTA活動は、連携・周知に努めながら取り組まれている。	123	97	11	2	4	
	11	学校は、子どもたちの心身の健康づくりに努めている。	162	68	5	2	0	
健康・安全	12	学校は、子どもたちの安全や事故防止に努めている。	167	59	4	4	3	

学校全体の考察

①	<p>幼小中高の保護者237名から（全体の約60％）から回答を得た。◎○を良好な評価、▲×を改善が必要な評価として考察する。12項目中7項目で95％以上の良好な評価（◎○）であった。</p> <p>多くの保護者の皆様から、本校の教育活動への理解、学校運営への協力が得られていると考察する。</p>
②	<p>No.3「教育活動」の「お子さんは喜んで学校に通学している」については、「良好な評価」が93％を占めているが、「改善が必要な評価」（6％）、「無回答（わからない）」（1％）も見られた。関連して、児童生徒のアンケートからは、No.1「学校は楽しい」の項目で良好な評価を90％得ているが、10％は「そう思わない」「全く思わない」の回答であった。保護者にとっては、子どもが「喜んで通える学校」、幼児児童生徒にとっては「学校が楽しい」と思えるような教育活動、学校運営の充実を図っていく。</p>
③	<p>No.5「情報教育」、No.8「いじめ対策」については、「無回答（わからない）」の割合が高かった。</p> <p>「情報教育」については、学習活動におけるICT機器の活用について発信するとともに、幼児児童生徒の実態に応じた情報モラルの育成についても指導力を高めていきたい。</p> <p>また、「いじめ対策」については、保護者から信頼される教職員であることを前提として、これまで以上に、日頃の言動に注意を払い、一人一人の幼児児童生徒がかけがえのない存在であるという認識を再確認するとともに、「いじめは決して許されない」ことの理解を児童生徒へ促していく。全ての幼児児童生徒が安心して過ごせる学校環境作りに留意し、「学校いじめ防止基本方針」の周知、早期発見、未然防止、組織的な連携を取りながら、保護者の不安解消に努めていく。職員の人権教育についての研修も取り入れることで、教育者としての倫理観、子どもたちへの関わり方への理解を深めていく。</p>
④	<p>No.6「進路指導」については、保護者より「良好な評価」を90％得ている。</p> <p>一方、学部が進行するにあたって進路情報提供の在り方について要望が数件見られた。卒業後の社会生活を見据えた進路指導にあたり、本人・保護者の思いや考えを傾聴し、丁寧な説明と共に見通しをもった指導を実施していく。</p> <p>また、児童生徒のキャリア発達に応じたキャリア教育を進めるにあたり、幼小小学部段階からの自己選択、自己決定する機会を大切にすることや他学部の進路指導や授業見学等を通じた連携、全学部の保護者を対象とした進路講話を実施する等の工夫をしながら、望ましい進路選択、進路指導の充実を図っていく。</p>